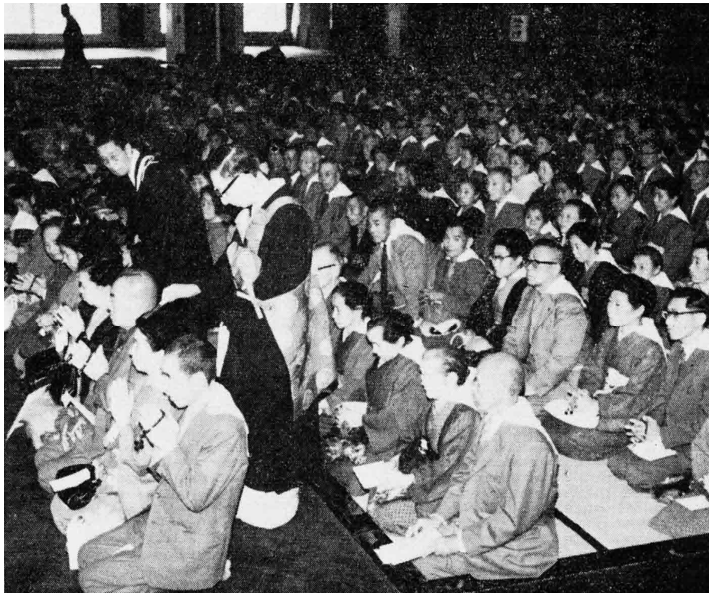
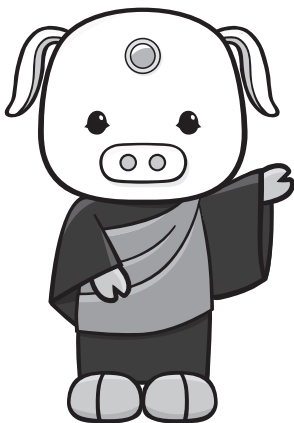




写真は、50年前の難波別院宗祖親鸞聖人
七百回御遠忌法要の様子です。（『南御堂』
第25号・昭和39年7月1日発行）
詳細は目次のページをご参照ください。



50年前の
難波別院御遠忌へ
タイムスリップ！

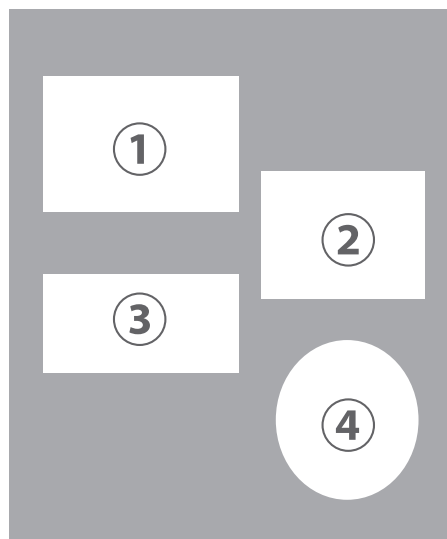


目次

contents

教区教化委員会ニュース	3
御遠忌通信	6
ボタンくんがゆく	10
アトリエしゃりりん 座談会のイラスト	11
ちよっといこか／しゃりりんちゃん	12

表紙の
写真説明



- ① 帰敬式でのおかみそりの様子
- ② 御満座でのおつとめ
- ③ 同朋大会であいさつされるご門首(当時法主)
- ④ 御堂合唱団のコーラスの様子

教区教化委員会ニュース

教区教化事業行事予定

●真宗の仏事と法事を考える講座

日時 4月9日(金) 午後6時
会場 教化センター会館研修室
講師 近松譽一氏

(第4組 慧光寺)

●聖典講座

『教行信証』『化身土巻』に学ぶ

日時 4月13日(火) 午後6時
会場 教化センター会館研修室
講師 藤場俊基氏

(金沢教区 常讃寺)

●聖典講座

善導の『観経疏』を読む

日時 5月18日(火) 午後6時
会場 教化センター会館研修室
講師 藤嶽明信氏

(大谷大学教授)

●門徒女性と坊守の集い

日時 5月25日(火) 午後1時30分
会場 難波別院同朋会館講堂
講師 芹沢俊介氏(評論家)

●大逆事件100年シンポジウム

in新宮(仮称)

【主催・大逆事件100年シンポジウム in 新宮実行委員会(仮称)／協賛・真宗大谷派大阪教区】

日時 6月19日(土) 午後1時半(予定)

会場 新宮市民会館

第1部(対談)

佐高 信氏(ジャーナリスト)
田中伸尚氏(ノンフィクションライター)

第2部(パネルディスカッション)

山泉 進氏(明治大学教授 予定)
丹羽達宗氏(本宮町「大逆事件」犠牲者の名誉回復を実現する会会長)

辻本雄一氏(佐藤春夫記念館館長)

泉 恵機氏(長浜教区 清休寺)

●遠松忌法要

日時 6月20日(日) 午後1時
会場 第23組 浄泉寺
講師 墨林 浩氏

(難波別院総務部長)

青少年活動に学ぶ講座

さる2月2日、教区教化委員会「研修・講座部」(成井暁信幹事)では、青少年教化の一貫として「青少年活動に学ぶ講座」これがボクらのメッセージ!〜自主制作ショートフィルム

ム&トークライブ」を難波別院講堂で開催しました。

当日は、青少年活動に学ぶ実行委員会で作ったショートフィルムを上映し、その後真城義磨氏(大谷中・高等学校長)にお話をいただきました。

ショートフィルムでは、「出あい」をテーマに実行委員が普段思っていること、感じていることを表現しました。

参加者からは、「視聴者に深く考えさせられる部分が多くあったと思う」という意見がいただけました。

このショートフィルムは今後、銀杏通信(<http://www.ichogrip.jp>)でも配信する予定です。



ショートフィルムのワンシーン

得度受式後研修会

さる12月25日から26日まで、教区教化委員会「儀式・法要部」(辻澤孝司幹事)では、得度を受式した中学3年生までの子どもを対象に「得度受式後研修会」を難波別院内を会場に開催しました。

当日は、「いのち」についてみんなで考える時間やお勤めのおけいこ、そして夜はブットンくんも登場し一緒に遊ぶ時間もありました。

インフルエンザ流行のため学校の補習が入り参加者こそ少なかったも



の、参加した子どもたちは元気に学び、遊びました。参加者の一人からはお礼の年賀状までいただき、スタッフも喜んでいきます。

帰敬式執行に 関する講習会／第12組

教区教化委員会「儀式・法要部」(辻澤孝司幹事)では、各組・各寺院を対象に、お寺でも帰敬式を執行いただけるよう「帰敬式執行に関する講習会」を開催しています。

2月17日には第12組で乗雲寺を会所に、吉川知徳氏(第4組阿弥陀寺)と山内雅教氏(第7組光明寺)が出講して同講習会を開催しました。

当日は、まず講師が説明しながら一通りの動きを確認した後、受講者が数名実際におかみそりをもって実習しました。

受講者からは、「今後、お寺でもご門徒さんに呼びかけをしてお声があるならば報恩講やお彼岸の法要などでも行っていきたい」という声があがっています。

「儀式・法要部」では随時講習会の受け付けをしています。申し込みの際には教務所までご連絡ください。

教区声明講習会

教区教化委員会「儀式・法要部」(辻澤孝司幹事)では、今年度は葬儀における勤行を中心としたカリキュラムで「教区声明講習会」(毎月1回)を行っています。

12月3日に行われた講習会では、「葬儀の装束」を中心に学習しました。受講者も装束を持参し、一人ひとりが着けてもらいました。



受講者のおひとりには、「本当にこれでいいのか?」と思いながらこれまで着けていたけど、講習できちっとした着け方を教えてもらい自信ができました」とお話されていました。

戦争展

教区教化委員会「行事部」(三好泰紹幹事)では、3月13日から5月22日(土)まで難波別院御堂会館北館1階ギャラリーにおいて、テーマに「想像してみませんか?争いのな

い世界」として戦争展を開催しています。ぜひ期間中に足を運んでみてください。

戦争展 趣旨文

過去に私たち人間が起こした戦争
今もなお止むことのない争い 戦後の悲惨な状況から立ち上がってきた私たち 豊かさを追い求めひたすら走り続けてきた私たち 確かに物質的には豊かな国になりました しかし今ふと立ち止まった時 空しさは拭いきれません 他者の痛みを感じ取る事ができない私 無関心な私 同感できない私 今を生きる私が戦争やそこに生きた人たちから何を学

ぶのか 想像してみてください 争いのない世界を 皆が手を取り合っ
てつながっている人間の姿を

教区主催後期教習

さる3月13日から15日まで、教区教化委員会「研修・講座部」(成井暁信幹事)では、「教区主催後期教習」を開催しました。これは、推進員養成講座を前期教習のみ受講し、後期教習に参加できなかった方を対象に行うものです。今年度は3人の方が教習を受け新たに推進員となりました。

教習では、講義・座談会のほか、

清掃奉仕やお内仏のお給仕の時間もあり充実した教習となりました。最終日には、参加者で作成した宣誓文を読み上げ、推進員としての自覚を確かめました。

真宗ハンドブック

このたび出版会議(楠樹章磨主査)から発刊しました真宗ハンドブックは、ご門徒の皆さまに、よりいっそう真宗に親しんでいただくために作られた一冊です。聞法会のテキストとしてや、また学習会の資料としてお使いいただけます。

勤行編では、『正信偈』『阿弥陀経』(共に読み下し文付)をはじめ、『嘆仏偈』などの短い偈文や、いくつかの『御文』をピックアップして収録しており充実した内容となっています。さらに「真宗門徒の生活」としては「帰敬式」や中陰・年忌法要などの「仏事の流れ」「年中行事」などを紹介しています。真宗門徒必携のものとなっています。定価750円。御遠忌特価500円。(大阪教区御遠忌2013年まで)

真宗ハンドブック

卓上日めくり



「卓上日めくり」カレンダー

出版会議(楠樹章磨主査)では、若い世代の方々にも真宗の教えを身近に感じていただくことを願いとして、『卓上日めくり』カレンダーを製作いたしました。

この日めくりカレンダーは、1ヶ月間毎日違った味わいのある言葉と親しみやすい挿絵を楽しむことができますのでぜひお求めください。

定価300円・10部以上購入の場合は1割引で頒布します。



推進員養成講座後期教習・清掃奉仕の時間

大阪教区

御遠忌通信

6月までのお待ち受け日程

さる3月27日の「御遠忌お待ち受け法要兼組門徒会員研修大会」を皮切りに開催される「真宗大谷派（東本願寺）大阪教区宗祖親鸞聖人750回御遠忌2010年お待ち受け法要・諸行事」について期日順に掲載いたします。ぜひ、ご参詣、ご参加ください。

●コーラス大会

日時 4月10日（土）

午後12時30分

会場 御堂会館大ホール

テーマ ひびけ心に！

●親鸞講座

日時 4月15日（木）午後6時

会場 御堂会館大ホール

講師 青木新門氏（作家）

講題 「後生の一大事」

映画「おくりびと」に寄せて――

●全推進員の集い

日時 4月17日（土）

午後1時30分

会場 御堂会館大ホール

講師 京極眞了氏

（同朋会館教導・長浜教区 即往寺）

●お待ち受け法要

日時 4月27日（火）

午後1時30分

会場 茨木別院

講師 宮下晴輝氏

（大谷大学教授）

講題 仏まします

●教区同朋大会

日時 5月8日（土）

会場 難波別院

講師 蓑輪秀邦氏

（仁愛大学教授・福井教区 仰明寺）

●お待ち受け法要

日時 5月15日（土）

午後1時30分

会場 天満別院

講師 田代俊孝氏

（同朋大学大学院教授）

講題 ひと・ほとけ・いのち

――今、いのちがあなた

を生きている――

●親鸞講座

日時 5月20日（木）午後2時

会場 やまと郡山城ホール

（大和郡山市）

講師 延塚知道氏

（大谷大学教授）

講題 今、いのちがあなたを

生きている

●青少年ライブの集い

期日 5月22日（土）

会場 難波別院境内

テーマ であing KIDS'10

（出会いから出遇いへ）

●親鸞講座

日時 5月28日（金）午後6時

会場 難波別院同朋会館 講堂

講師 伊東憲秀氏

（第1組 順教寺）

講題 絆

パネル 子どもの教育に対する

親鸞仏教の可能性

●お待ち受け法要

日時 6月27日（日）

午後1時30分

会場 大和大谷別院

講師 宮下晴輝氏

（大谷大学教授）

講題 本願まします

御遠忌ホームページが オープンしました！

御遠忌委員会広報部会では、宗祖親鸞聖人750回御遠忌を広く内外に広報するべく、ホームページをオープンしました。ぜひご覧ください。

<http://www.osaka-goenki.net/>

「教区同朋大会ビデオ」レポート

2010年5月8日(土)、「第38回大阪教区同朋大会」が教区お待ち受け事業の一貫として開催されます。教区教化委員会行事部・同朋大会実行委員会では、それに向け、さまざまな準備が進んでいます。

その中で今回は、大会当日上映さ

れるビデオ『出遇えて、よかった』をレポートいたします。

2010年2月12日、真宗本廟(東本願寺)において撮影は行われました。

このビデオは、さまざまな年代の4人の男女が、あるお寺の同朋会の本願奉仕団として東本願寺へやってくるから始まり。大阪教区にはおなじみ聞法犬シロが進行役となり、ドラマは進みます。

最初の撮影は御影堂門の上。清掃奉仕の様子です。さらに撮影は白洲、本廟内諸殿や視聴覚ホールギャラリーで行われ、最後は同朋会館での座談会の様子がカメラに収められました。俳優さんたちの心のこもった演技、スタッフさんたちの熱意に、できあがりがとも

も楽しみになりました。

また、このビデオでは教区の門徒さんたちにエキス

トラで出演いただいています。13時間余りもの長時間、また底冷えする京都の冬の寒さの中の撮影にもめげることなく、元気に大役を果たしていただきました。エキストラの門徒さんがたの演技にもぜひご注目ください！

お話は会社をリストラされ、それが家族には言い出せなくて悩む男性が中心となり展開していきます。彼が本山のあちこちで出会う「法語」が、そんな悩む彼の心に訴えかけます。はたして彼は本願奉仕で何を見つけたのでしょうか。

同朋大会当日のビデオ上映をぜひお楽しみに。またこのビデオは、視聴覚伝道部において現在制作中の「御遠忌お待ち受け記録ビデオ」(仮称)にも収録する予定です。(澤田)

シナリオ執筆への願い

大谷派の「いのち」とも言うべき同朋会運動の一旦を担ってきたのが本願奉仕団ではなかったか。そんな大きな確認を宗祖御遠忌のお待ち受けとして行いたいという、同朋大会総務部会よりの御依頼を受けシナリ

オを書かせていただきました。

「寺」という場所が、世代を超え性別や職業も問わず集い語り合える場であることを具体的に表現しているのが、奉仕団での生活であるように思えます。

ある雑誌で「今自分の悩み事を言える場所がないんです」という40代のサラリーマンの言葉を目にしました。まさに次の世代とも言える人たちが仏法と出会い、そこに集うそれぞれの悩みを抱える人たちと出会えればという想像がこの物語です。

「自分の悩みを語ってもいい」「悩みがあっても生きていける」。そういう場所が奉仕団であると同時に、一ヶ寺一ヶ寺の「寺」がそういう場所であって欲しいという願いでもあります。そしてまた揭示伝道という仏法表現があらゆる人に仏法が届くことを願っているように、一人ひとりの生活に響く法語が自分を励ましたり、気づかされたりしながら、もう一度出発できる一番身近な教え(聖典)として物語を進めました。

本願奉仕団や寺が遠い存在でなく、自分の生活の一部として受け止めてゆくことを願っています。

(シナリオ・廣瀬 俊)

第2組お待ち受け同朋大会

さる3月6日、大阪教区第2組（竹内博明組長）では、難波別院同朋会館を会場に、『宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌お待ち受け大会』として、「第25回 第2組同朋大会」を開催しました。いよいよ翌年と迫る『宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌』

に向け、「今、いのちがあなたを生きている」のテーマのもとに開催された今大会は、当日はあいにくの雨模様となったものの大勢の方々にご参集をいただきました。

大会ではまず参加者一同での『正信偈』同朋奉讃式による勤行が行われた後、竹内組長から開催の挨拶が述べられ、引き続き、宗務総長からのメッセージが藤井善隆（即応寺住職）によって代読されました。

その後、大阪教区教化委員会製作の「ただ念仏に生きる（宗祖親鸞聖人の生涯）」のDVD上映が行われました。

DVDは、大きく親鸞聖人の御誕生から法然上人との値遇、承元の法難、関東での同朋との懇ろな交わり、『教行信証』の撰述など、御入滅にいたるまでの御生涯が大変わかりやすく描かれていて、弾圧という悲歎を逆縁に真実の仏道を求め、聞き続けている



かれた選択本願念仏の行人としての宗祖のお姿を学ばせていただきました。

また上映後は、副組長の藤原憲（法山寺住職）の指導のもとで、御遠忌テーマソング「今、いのちに目覚めるとき」の合唱が行われました。初の試みではありましたが、事前練習の甲斐あって、本番では館内に参加者の素晴らしい歌声が響き渡りました。合唱後には「合唱なんて久しぶり。新鮮で楽しかった」や「改めて声に出してみても、歌詞が自分自身に

響いてきた」など、多くの喜びの声が寄せられました。

休憩を挟み、第二部では真宗大谷派教学研究所長の小川一乗先生をお迎えして、「今、いのちがあなたを生きている」と題した記念講演が行われました。

講演では、冒頭に『念仏成仏これ真宗』という言葉をあけて、人間が「仏」と「成」って生きるとは如何なる道であるのかという問題を提起され、「お釈迦さまが私たちの上に明らかにされた“いのち”に目覚めて生きて欲しい」と願われているのが「仏さま（大悲）の“いのち”だ」とお話しいただき、小川先生の熱のこもる講演に、参加者は終始、熱心な面持ちで聴聞していました。

講演後は、浪花益夫氏（第2組門徒会長）から閉会の挨拶が述べられ、最後に恩徳讃の斉唱をもって今大会を閉会しました。

このたびのお待ち受け大会を「宗祖としての親鸞聖人に会う」ことの意味を確かめ合う新たな一歩として、今後も第2組の皆様方と共に御遠忌に向けた様々な取り組みに積極的につとめてまいります。

（第2組即応寺・藤井真隆さん）

第7組お待ち受け大会

さる12月12日、教区教化センター会館研修室において、宗祖親鸞聖人750回御遠忌お待ち受け大会（第7組教化委員会主催・第7組門徒会共催）を開催しました。

今回のお待ち受け大会に至るまで、以前より継続して様々な研修会などの教化活動を重ねておりました。その教化活動の中で、かねてよりお待ち受け大会開催の声が出ていたことや、2011年の本山御遠忌に向け、組内での教化意識の高揚になり、大きくひとつにまとまる大切な企画をしたいという願いがありました。これらの願いをふまえて、第7組教化委員会・門徒会の協力によりお待ち受け大会の計画が進められました。

組内の教化委員会での打ち合わせでは、大会の運営と内容に関して様々な積極的な意見が出され、内容は法要と記念講演ということに決まりました。

組内寺院と門徒会を通じ大会への参加を呼びかけるにあたり、参加者



に関心を持っていた内容にしたことから、法要は奏楽入り同朋唱和を目指し、講演はなじみが薄いが各地で話題になりつつある節談説教が企画されました。2ヶ月前から参加募集をしたところ、すぐに定員を超えました。運営側としては喜ばしいことですし、運営者一同がこの大会をぜひ成功させたいという思いが出たことはいまでもなく、より大

きく一つにまとまる第一歩になったと思われます。

お待ち受け大会当日は170余名の参加者で賑わい、会場は早くから満席となり熱気に包まれ寒さも忘れるほどの盛り上がりとなりました。第1部にて、『宗祖親鸞聖人御遠忌同朋唱和勤行集』を活用し、組内住職・「寺族」により奏楽入りにて逮夜勤行が執行されました。楽が入ったお勤めで参加者の皆さまと共にすばらしい正信偈の唱和ができたこと、ご門徒の方々から感動の声があちこちで聞こえました。第2部の記念講演には、真宗独特の布教手法である節談説教が、藤野宗城師（近江第7組浄念寺住職）により行われました。あまり聴聞したことのないお説教ということ、開催前から関心を持つて参加された方がたくさんいたと聞いています。節談の内容は、親鸞聖人が比叡山において修行されていた時代のご苦労を語っていただいたのですが、艶のあるすばらしい声と、巧みな七五調の節まわしで、楽しく心ひかれるお説教となりました。

また、閉会前に大阪教区のキャラクターであるブットンくんの登場によって、会場は盛り上がり、和んだ

雰囲気になったことはいまでもありません。

この大会が成功した要因は、住職・「寺族」・青年会・坊守会・門徒会の方々の惜しめない協力があつたからこそであり、この協力体制を持続させて、より一層第7組の教化活動を充実させるべく取り組んでゆく所存です。

この大会を終えて、組内の寺院ならびにご門徒の方々においては、宗祖御遠忌に向けての関心は高く気運が高まっていることを確信いたしました。本山御遠忌団体参拝に向けた準備段階として貴重な大会になったことと思います。

（第7組常圓寺・越谷彰元さん）



ブットンくんがゆく!



「しゃらりん」第21号でも紹介しました教区キャラクターのブットンくんですが、「儀式・法要部」の「子ども同朋唱和講習会」を中心に様々な場で活躍してくれています。今回は、その一部をご紹介します。



子ども同朋唱和講習会（於・第8組西孝寺）



本山報恩講



教区御遠忌テーマ発表セレモニー



教区坊守会新年互礼会



難波別院盆おどり大会



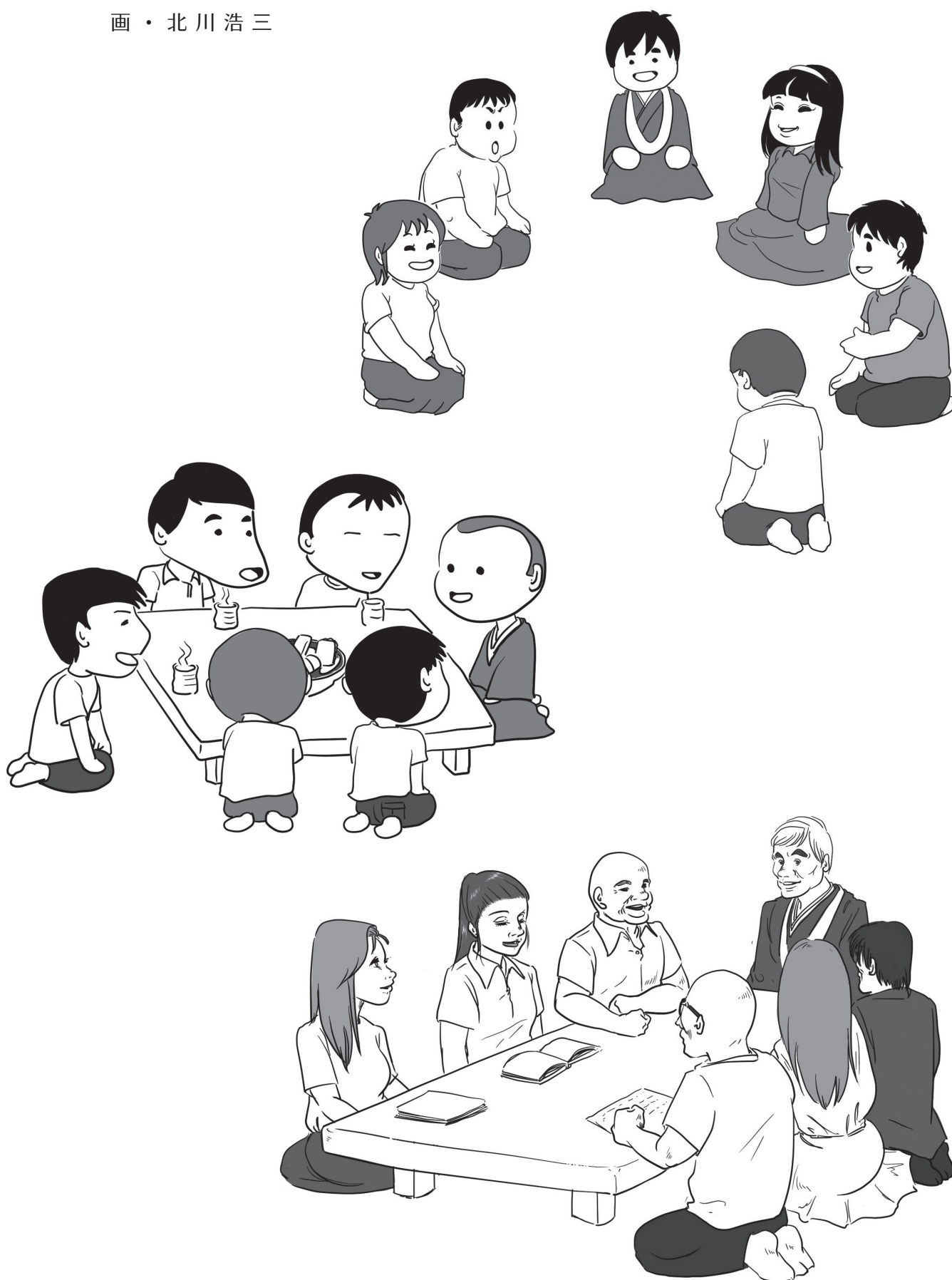
子ども同朋唱和講習会（於・第17組光泉寺）



今後は教区内に留まらず、他教区にも飛び出してゆきます。近々では、三重教区の「花まつり」（4月4日（日）開催）と京都教区近江1組の「お待ち受け法要」（4月25日（日）開催）に参加いたします。

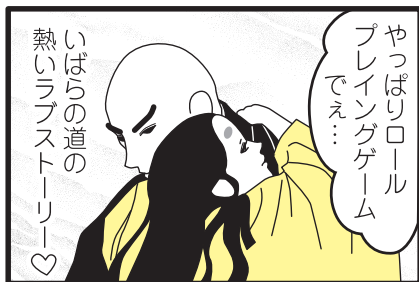
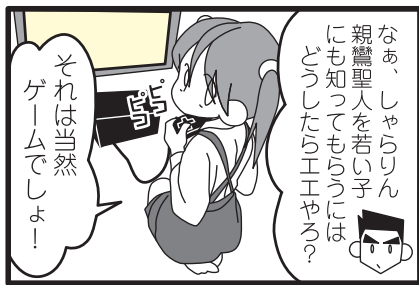
アトリエしゃらりん

画・北川浩三



しゃらりんちゃん

ゲームにするなら 編



土佐料理 さはら

sahara

今回のご紹介は伊藤忠商事のすぐ西側の通りにある「さはら」という土佐料理のお店。「さはら」の暖簾をくぐると、すぐに階段があり、2階、3階にまたがるお店へと続く。

2階はカウンター席と6～8人までの座敷、3階は4人掛けのテーブル席が6つで、補助椅子を加えると30人くらいまで入れる。



お店に入って、出てきた突出しが、「はやてうり」というウリの和え物。ビールとの相性が良く、他の料理の期待感が膨らむ。

土佐料理といえば、まずは鰹のタタキを注文。わら焼きのタタキだそうで、肉厚の身に、にんにく・ネギ・みょうがを乗せて食べる。鰹は塩味で整えてあり、そのまま食べてもいいし、ポン酢をつけてもいい。好みもあるだろうが、何も付けず塩味で薬味を乗せるだけの方が、素材の味を

楽しめて美味しい。

他に、まぐろ、本まぐろユッケ、四万十川川海老唐揚げ、つくねいもの磯辺焼き、地鶏の唐揚げなどを注文。

メニューも豊富で、どの料理も素材が良く、本場の土佐料理が味わえる。また、かつおの酒盗は土佐の名物で、酒盗をアテにいろいろな土佐の地酒との取り合わせを試してみるのもおもしろい。飲み物は土佐の日本酒、焼酎を中心に、ロングのカクテル、ワイン赤白2種など。

予算は、しっかり食べて飲んでも5,000円ほど。

一人でも入り易い雰囲気なので、カウンター席でしっぽりと飲んでも気兼ねが無いし、グループで賑やかに利用するにもいい。(大戸)

【さはら】

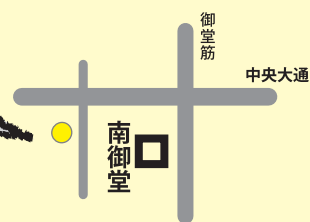
大阪府中央区久太郎町4-2-13

TEL06-6244-4055

営業時間 ● 11:00～14:00

17:00～23:00

定休日 ● 土・日・祝日



編集後記

◆毎年、年頭には、新しい年の新しい出会いに期待を膨らませますが、年齢を重ねるごとに、その出会いが、さらに新しい出会いにつながる、自分の歩んでいる道を太くしてくれ

る貴重なものになっていることに気づかれます。◆一方、旧知の人々と久しぶりに再会し、薄れかけた記憶がつながるのは、歩んできた道を確認し、その隙間を埋めて、確かなものにしてくれるような感覚です。まさに、縁のつながりが道になっていると思います。◆柳生家の家訓に、「小才は縁に気づかず、中才は縁を生かさず、大才は袖摺りあう縁をも生かさ」とあるそうです。大才には、程遠い我が身ながら、人や物やできごととのご縁を大切にしていきたいと思ひます。(F)

発行日:2010年4月1日

発行所:真宗大谷派大阪教務所

大阪市中央区久太郎町4-1-11

TEL06-6251-4720

発行人:五辻 信行

編集: 第4組 常樂寺・久世見証
第9組 淨園寺・難波美千子
第10組 是三寺・北川浩三
第12組 清澤寺・澤田 見
第16組 即得寺・大戸俊彦
第17組 法親寺・廣瀬 俊
第25組 南林寺・藤林容子
第27組 願隨寺・平野圭晋
第27組 信證寺・吉内利彦

<http://www.icho.gr.jp/shararin/>